

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区西港町10-20

団体名 西鉄車体技術株式会社 小倉工場

代表者 山下 清孝

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	にしてつしゃたいぎじゅつかぶしがいしゃ こくらこうじょう	
団体名	西鉄車体技術株式会社 小倉工場	
(ふりがな)	やました きよたか	
代表者氏名	山下 清孝	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 西港町10-20
	主たる事業所	佐賀県三養基郡基山町大字長野308-5
事業概要	バス車体修理、車両改造、バス新車改造、 中古車販売、中古バスリニューアル、 バス部品販売 等	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）	
従業員数（企業のみ）	101～300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.nabt.co.jp/	





































連絡先

担当部署	営業本部
担当者	堀 薫道
電話番号	0942-92-5860
メールアドレス	nabt@nabt.nnr.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 日々の節電など組織全体での取組 使用するガソリンなどの燃料や、電力・ガスの使用量を検針票等で把握・記録 燃料や電力・ガスの使用量の削減に向けた目標を設定し、組織内に周知 クールビズ・ウォームビズの推進 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
				7.2	9.4	13.3		13.3	環境(1)ア
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 使用済の製品、部品、容器等の回収を行い、3Rプラスを推進 紙、紙ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 	ゴール12	環境(2)②
				9.4	12.3、12.5	13.3		ターゲット	具体的な取組
				9.4	12.3、12.5	13.3		12.5	環境(2)ウ
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 {サブライチェーン管理}					<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者を優先して調達 西鉄グループグリーン購入ガイドラインに基づき、環境に配慮したグリーン購入および調達を推進 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
				10.2	12.2	13.3		ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 社内小集団活動および改善提案活動により品質改善・向上の継続 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	経済(3)①
				8.2	9.5	12.5		ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 電気バス改造等、CO2削減に貢献する製品・サービスの開発 災害時、非常時にも活躍する製品の開発 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	経済(2)④
				7.2	9.4	13.3		ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 {労働環境整備}					<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得の推進 従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底 適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出 在宅勤務、フレックスタイム、ノー残業デーなどの柔軟な勤務体制を実施 育児・介護休業法に基づき就業規則に「子どもの看護休暇」を規定 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(3)①
				3.4	5.5	8.8		ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ジェンダー平等}					<ul style="list-style-type: none"> 「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働・同一賃金を実施 パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、資格、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施 西鉄グループ人権・同和問題推進委員会を設立し、人権に関する情報を周知する掲示や、毎年実施する人権研修を週に、啓発活動を実施 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(2)①
				5.5	8.5、8.8	10.2		ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ハラスメント防止}					<ul style="list-style-type: none"> パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守 ハラスメント防止に関する規程を整備し、社内に周知 ハラスメントに対する相談窓口および社内のホットラインを設置 ハラスメントについての社内研修を実施 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
				5.1、5.4	8.8			ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施 従業員に対して、定期的に健康診断を実施 健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施 従業員に対して不適切な飲酒がもたらす問題に関する研修の実施 社内において禁煙・分煙を実施 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
				3.4	8.8			ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報や外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> 資格手当や資格取得奨励金を給付し、従業員の取組意欲を高めている。 業務機会を提供し、従業員自身のスキルアップの機会を確保している。 雇用形態を問わず希望者が利用できる、通信教育やeラーニング、研修等の教育プログラムを整備している。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(2)①
				4.4	8.2、8.6	17.17		ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> 反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知 贈収賄防止と公正な取引に関する方針を策定し、従業員および社外に周知 個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知 情報セキュリティ対策を推進 コンプライアンスに関する情報を定期的に掲示 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
				16.1、16.3、16.5				ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> (西鉄グループ共通)SDGsコンセプトブックの作成 SDGs宣言やDGへの取組に関する情報を開示 BCP(事業継続計画)を策定 気象災害(台風や豪雨など)による事業への被害を防止・軽減するために、ハザードマップを確認して、避難計画や事前防災対策を推進 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	社会(2)①
				11.b	12.6	13.1		ターゲット	具体的な取組

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 9月 30日

団体名 西鉄車体技術株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

【経済】環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に貢献する。

【社会】良好な労働環境の整備に取り組み、誰もが働きやすいまちづくりに貢献する。

【環境】温室効果ガスの排出を抑制し、環境負荷軽減に貢献する。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	電気バス改造等、CO2削減に貢献する製品・サービスの開発	指標 (KPI)	電気バス改造等の実施件数	指標
社会			目標値		経済 (2) ④
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2020年 ゼロ ↓ 2023年 1件以上	具体的な取組 環境 (1) ア
経済		有給休暇取得の推進	指標 (KPI)	有給休暇取得率	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2020年度 80% ↓ 2023年度 100%	具体的な取組 社会 (1) イ
経済		環境負荷低減 (CO2排出量削減) の推進 ※右記KPIについて 2020年度→2023年度の業績3.7%増を見込むが、CO2排出量は3.4%増に抑える	指標 (KPI)	CO2排出量	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	2020年度 364t ↓ 2023年度 376t	具体的な取組 環境 (1) ア

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 西鉄車体技術株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
2 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州のまちを美しく！プロジェクト	当社は月に1回社員全員で事業所周辺の道路・歩道等のボランティア清掃を行っている。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。